

平成 21 年 3 月 16 日

第 37 回歯学部物理教育協議会のご案内

先生方お元気でご活躍のことと存じます。年度末を迎え入試業務等も重なりお忙しい日を送っておられることと推察します。

さて、ご案内の通り、本年度の第37回の歯学部物理教育協議会を下記の通り開催します。出席者は別表の通りです。今回は日本物理学会第64回年次大会の立教大学での開催に合わせて、物理教育協議会は総合講演の日の3/27(金)にアルカディア市ヶ谷(私学会館)で開催することに致しました。会場の設営に当たっては日本歯科大学生命歯学部の大崎先生に大変お世話になりました。

記

日時：3月27日(金) 18:00～20:30 受付17:30より

場所：アルカディア市ヶ谷(私学会館)

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25

Tel. 03-3261-9921, Fax. 03-3261-7760 <http://www.arcadia-jp.org/top.htm>

費用：6千円

話題：1. 入学者選抜と初年時教育カリキュラムを中心とした大学間の情報交換

2. 「歯科大学をめぐる情勢と中教審答申」資料提供 事務局(豊田紘一)

3. 物理教育の現場から(その5) 日本大学松戸歯学部 小倉昭弘先生

歯科医師過剰問題、国家試験での合格枠の制限、医学部定員の急増など歯科大学をめぐる状況はますます厳しくなり、2月末現在では、私立歯科大学志願者数が2600名ほど、36%減少したと伝えられています。しかし、状況が厳しければ厳しくなるほど入学生の基礎学力充実を図り、歯科医学の真の学力につなげて行くという一般教育の重要性の認識は逆に高まっているようにも思われます。1では昨年に続いて初年次教育と基礎科学教育のあり方を議論していきたいと考えております。2では文科省・厚労省の歯科大学学生定員削減と国家試験政策と合わせて中教審大学部会の最終答申の内容の紹介をします。3では小倉先生から4年前のお話について「物理実験の指導法」の題で実践経験を語って頂くことに致しました。要旨は下記の通りです。

要旨：高校物理の履修率の低下(または学力低下)により、実験指導書の実験方法を自ら読んで実験を行うことは今の学生には厳しくなっている。マンガやゲームに慣れたしんだ学生には、文章を読むより目で見ることのほうが分かりやすいのかもしれない。そこで実験手順を8コマの写真におさめて実験方法を示すことにした。

この他、実験をする上で工夫をしたことを紹介する。

ご参加の先生方とは会場でお会いできますことを楽しみにしております。

(なお、世話人の先生方は17:30に会場にお集まり下さい。)

歯学部物理教育協議会 世話人一同

(歯学部物理教育協議会事務局)

Tel. 072-864-3021, Fax. 072-864-3121

e-mail: phys-edu@mlist.osaka-dent.ac.jp